平成２６年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	市政創造
議員名	我妻静夫･岡田健一･山川明･山中正尚･古澤孝市･徳中嗣史･早川昇三
調査実施年月日	平成２６年７月２日（水）
調査先　自治体名等	福岡県　北九州市　北九州次世代エネルギーパーク
調査項目	１．環境モデル都市の取り組み
調査目的	１．環境モデル都市の取り組み ①北九州次世代エネルギーパーク
報告内容 実施したこと	１　視察先（市町村）の概要 人口　：　976,846　人（H25.4.1現在）　　行政面積　：　489.56　k㎡ ２　視察内容 ⑴ 環境モデル都市の取り組み ①　北九州次世代エネルギーパーク
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	１．環境モデル都市の取り組み ⑴ 北九州次世代エネルギーパーク 九州次世代エネルギーパークは、平成１９年、経済産業省から他５箇所とともに第１号認定を受け、平成２１年７月２７日にオープンしました。 北九州市の北部、若松区響灘地区には、多種多様なエネルギー施設が集積しており、エネルギーパークでは、エネルギー施設を見学したり、エコタウンセンター別館内にある展示コーナーでエネルギーについて学んだりすることができます。ここでは現在の暮らしを支えているエネルギー供給基地を担う太陽光･風力等の自然エネルギーやバイオマスエネルギーのほか、エネルギーの企業間連携や革新技術の研究の様子など、５つの切り口から捉えた様々なエネルギーの取組みが見学できます。 ①　風力発電ＮＳウィンドパワーひびき 1,500ｋｗの風車１０基が並ぶ陸上風力発電。 ②　電源開発㈱ 2,700ｋｗの洋上風力発電。 ③　電源開発㈱ 集光追尾型太陽光発電（161ｋｗ） 展示コーナー 平成２５年３月２９日に、エコタウンセンター別館展示コーナーをリニューアルオープンし、エネルギーに関する基礎知識から、北九州市の先進的な取り組みといったエネルギーに関する応用的な内容まで、体験しながら総合的に学ぶことができる展示コーナー。 ２．感想 北九州次世代エネルギーパークは、現地での実物の見学と展示室での総合的な学習ができるほか、エネルギーとは何か、エネルギーをつくる、エネルギーをめぐる課題、省エネの工夫などが学べる施設で、どのようなところで、どのような発電が効率よくできるのか解説されていました。本市が実施するグリーンエネルギータウン構想の取り組みの参考にしていきたいと思います。